燕農委第 325 号
令和 5 年 10 月 4 日

燕市長 鈴木　力 様

燕市農業委員会　会長　和田　正春

農業経営に対する緊急支援等の要望について

燕市の農業は、金属洋食器などの伝統的基幹産業と並び、信濃川や中ノ口川の豊富な水に恵まれた立地条件を活かし、水稲、野菜、果樹、畜産などの重要な産地の一つであります。今年8月の猛暑による水稲や園芸作物の生育不良、乳用牛の搾乳減少など農業者の努力だけでは対応できない状況にあります。その結果、品質の低下や生産量及び出荷量の減少に伴い、収入が減少し農業経営を圧迫しています。

さらに、国際情勢の変化に伴う燃料や飼料、肥料の価格高騰等によるコストの上昇や不安定化も農業経営に大きな影響を及ぼしています。

燕市農業委員会は、農家が今後も市の約 46％に当たる 5,000 ヘクタールの農地を守り、引き続き農業生産活動ができる環境を維持するために、農業経営に対する緊急支援を要望するものです。

なお、支援にあたっては、農業経営の実態把握及び要望を踏まえ、緊急性と継続性に十分配慮のうえ、ご検討をお願いいたします。